

生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信



2018年

9月

第4号

麻生・太平百合が原・拓北・あいの里・篠路 地区版

太平百合が原地区

パーク♡サロン実行委員会で助け合い体験ゲーム実施！！

9月1日（土）に太平百合が原地区太平パークタウン町内会で開催しているサロン「パーク♡サロン」の開催内容を検討している実行委員会で生活支援活動についてワークショップを実施しました。

「地域共生社会に向けた生活支援活動について」講話と助け合い体験ゲームを通して、身近な支え合い・生活支援活動について考える機会となりました。



助け合い体験ゲームのカードを見ながら、ご近所に「これで困っている人はいるかなあ」と話してみました。地域の生活支援ニーズの把握は生活支援コーディネーターの大きな役割です。

10月のサロンで参加者の皆様と助け合い体験ゲームを実施することになりました。

太平百合が原地区社会福祉協議会

「サポートたいゆり」全体会議で研修を実施しました！



太平百合が原地区社会福祉協議会は、生活支援ボランティア組織「サポートたいゆり」を立ち上げて、これから地域で生活支援活動に取り組まれる予定となっています。地区社協会員へ呼びかけを行い、協力できる方が初めて集まって全体会議が8/29（木）開催され、その中で、生活支援ボランティア活動について研修を行いました。

現在、ボランティア活動内容や受付窓口の設置方法などが検討されていて、これから実際の活動に向け進んでいく予定となっています。

平成 30 年度篠路地区生活支援推進連絡会

第 1 回 小連絡会を開催しました！

昨年度 2 月に開催した篠路地区生活支援推進連絡会で地域の生活支援ニーズとして「東茨戸エリアは交通の便が悪く、買い物する場所がコンビニしか徒歩圏内にない」とのご意見をいただき、それに対し、社会福祉法人札幌恵友会軽費老人ホーム A 型茨戸ライラックハイツから入居者向けに実施している訪問売店を地域に向けて開放することができるかもしれないとご発言いただきました。



そのことを受け、茨戸ライラックハイツ周辺町内会の会長や民生委員、関係機関などにお集まりいただき、訪問売店の地域開放に向けた意見交換を開催いたしました。

月に 1 回実施している訪問売店で日常の買い物を充足することは当然できず、来ることでより楽しみを得られる場の提供として訪問売店と「集える場」として地域ボランティアさんによる「喫茶」を同時開催することを提案し、皆様からご意見をいただいたところです。皆様からのご意見として、「買い物ができる場であればいろいろ買いたくても持って帰ることができず、配達や送迎がないと買えないのでは」「継続していくのであれば喫茶・集いの場の充実を図ることを考えていく必要があるのでは」などいろいろお話をいただきました。

いただいたご意見は今後の課題としてさらに考えていくこととなります。まずは 1 回目の開催に向け地域の方に知っていただき、共有を図る機会とさせていただきます。

そして…

福祉施設で実施する訪問売店の地域開放 第 1 回目開催！



上記結果も踏まえ、訪問売店の地域開放を特別養護老人ホーム福寿園デイホールにて 8 月 2 日（木）に開催いたしました。

周知としては、周辺町内会にてチラシの町内回覧を行い、30 名程の方が施設へ足を運んでくださいました。施設に関わりがある方がお友達を連れて一緒に来てくれ、ボランティアさんがお手伝いしてくださった喫茶スペースでおしゃべりをしながらお茶をして、帰り際に訪問売店の商品を見て買い物をしてくださっていました。また、チラシをご覧になって買い物だけをしに来てくださった方もいました。

今後も地域の方からいただいた意見も踏まえながら、地域の方と実施主体である施設と一緒に方向性を検討していきたいと思っております。

第 2 回目が 9 月 6 日に予定されていましたが、震災の影響で中止となってしまいました 😞

「生活支援コーディネーター」は、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していく地域における調整役です！

【お問い合わせ先】



札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北 24 条西 6 丁目北区役所 1 階

☎ 757-2482

担当) 生活支援コーディネーター 佐藤